

I かがやくけん、かがわけん。香川県

四国の東北部に位置する香川県。美しい瀬戸の海にせり出した香川県。地形は半月形。面積は全国の都道府県の中で最も狭く、四国全体の約10%、全国に占める割合は0.5%。

南に讃岐山脈が連なり、これより北に向かって緩やかに傾斜し、ため池や鎮守の杜が点在し、美しい田園が広がる讃岐平野。

北には、県花県木のオリーブや「二十四の瞳」で知られる小豆島をはじめ、大小110余の島々が浮かぶ穏やかな瀬戸内海を望み、^{ふうこうめいび}風光明媚な地。

年間を通じて比較的温暖で、降水量は少ない。昔から干ばつに見舞われ、満濃池をはじめ大小14,600余のため池が築かれている。

県都高松市を中心として県内全域が一日生活圏を形成している。

瀬戸大橋が四国と本州の大動脈として、人々や物、そして文化を運ぶ。

幾多の先人が築いた歴史と文化。今なお、ここ香川の地を訪れる人々に懐かしさを感じさせる風景。

ふるさと香川の自然や文化、郷土を支える人々の努力や工夫を知り、人間としての在り方や生き方を考えていきましょう。

